

北陸地方整備局
記者発表・資料配付

・記者発表 ・資料配付 日 時	令和8年8月31日 8時30分
-----------------------	--------------------

件 名	令和8年8月27日からの大雨の対応について（第6報） ～ 防災ヘリコプター「ほくりく号」による 現地状況調査の実施（富山県とも連携）～
-----	---

取り扱い	・発表をもって解禁
------	-----------

発表先	・管内各県記者クラブ
-----	------------

発表概要	・北陸地方整備局は、令和8年8月31日11時頃、富山空港より防災ヘリコプター「ほくりく号」による現地状況調査を実施します。 ・調査範囲は、令和8年8月27日からの大雨により被災した富山県及び石川県を予定しています。 ・国による現地状況調査と併せて、富山県からの依頼を受け、県職員（土木部、農林水産部）も同乗し現地状況調査を行います。
------	--

北陸地方整備局
ホームページ

URL : <https://www.hrr.mlit.go.jp/>



X(旧 Twitter)



問い合わせ先	北陸地方整備局 TEL (代表) 025-280-8880 所 属 氏 名 企画部 企画課長 水野 カ斗 (みずの りきと)
--------	--

国土交通省北陸地方整備局 防災ヘリコプター

ほくりく号

防災ヘリコプターとは

災害発生初動時に広域的・機能的に災害情報の収集を行います。上空から状況の変化を監視し、地上班と連携して二次災害の防止や円滑な情報の収集に努めます。災害対策要員や資機材の輸送を行います。災害危険箇所は定期的に監視し、異常事態に備えて緊急対策、復旧対策の策定に活用します。

ほくりく号

平成17年に北陸地方整備局で初めての防災ヘリコプター（アメリカ合衆国 ベル社製412EP）が配備されました。その後、当初の機体は老朽化が見られることから、災害対応に支障が生じないように令和6年12月に新しい機体（イタリア レオナルド社製AW139）へ更新を行い、令和7年4月から新しい機体での運用が開始されました。



最大搭乗者数：11名
最大航続距離：829km
最大巡航速度：250km/h
最大離陸重量：7,000kg

主要装備品

可視カメラ

機体側部に外付け装備されており、防振機能を備えた可視カメラで、揺れの少ない安定した画像、映像を撮影できます。撮影した映像をヘリサットシステムを介して関係機関に映像配信することができます。



ヘリサットシステム

災害現場上空から撮影した映像を通信衛星を介して北陸地方整備局や各事務所及び関係自治体などに配信します。また2代目ほくりく号からデュアル式となり、旧式に比べて通信環境等が改善されました。

機内の様子



搭乗員席



操縦士席



撮影技士席